

納入仕様書

製品名称 : PL3000 シリーズ HDD/SSD ユニット

製品型式 : APL3000-HD250/APL3000-HD60/APL3000-SD16

受領印欄

目 次

1. 適用範囲.....	4
2. ハードウェア仕様.....	4
2.1 性能仕様.....	4
2.2 環境仕様.....	5
3. 取り付け.....	6
3.1 取り付け方法.....	6
4. 納入形態.....	7
4.1 梱包内容.....	7
4.2 梱包.....	7
5. 安全に関する使用上の注意.....	8

1. 適用範囲

本仕様書は、株式会社デジタル製 PL3000シリーズ（以下PLと称します）用の HDDユニット（ APL3000-HD250 / APL3000-HD60 ）、SSDユニット（ APL3000-SD16 ）に適用する。

2. ハードウェア仕様

2.1 性能仕様

項目	APL3000-HD250 / APL3000-HD60	APL3000-SD16
総記憶容量	APL3000-HD250 : 250G バイト APL3000-HD60 : 60G バイト	16G バイト
平均シーク時間	12msec (TYP)	-
消費電力	起動時 4.5W以下 R/W時 1.4W (TYP) 待機時 0.2W (TYP)	2.5W (MAX.)
インターフェイス	Serial ATA Rev. 1.0a	Serial ATA Rev. 1.0a
寿命	5年間または、20,000時間(通電時間)のいずれか早い到達期限まで	-
質量	約800g	約500g

- ・ SSD ユニットには、書き込み回数に制限があります。書き込み保証回数を超えると、データの読み書きが不可能になったり、システムが不安定になり異常をきたす恐れがあります。
- ・ 書き込み回数からSSD ユニットの予想寿命を計算することができます。

$$\text{書き込み回数による} \quad \text{予想寿命[年]} = \frac{\text{SSDの} \quad \text{記憶容量 [Mバイト]} \times \text{書き込み} \quad \text{保証回数}}{\text{1分間あたりの} \quad \text{書き込みサイズ [Mバイト]} \times \text{1分間あたりの} \quad \text{書き込み回数} \times 525,600[\text{分}]}$$

SSD の記憶容量 : 15,631M バイト

書き込み保証回数 : 10 万回

1 分間に1 回512M バイトのデータを書き込むとすると、予測寿命は約6 年です。

1 度の書き込みでもシステムやソフトウェアによっては、数度の書き込みを実行している場合があります。

そのため、予想寿命が実際の寿命とかけ離れることがあります。

より正確な寿命予測をするために、PL に付属の(株) デジタル製システムモニタによる寿命監視を使用してください。

2.2 環境仕様

項目	APL3000-HD250 / APL3000-HD60	APL3000-SD16
使用周囲温度	5 ~ 50 °C	0 ~ 50 °C
保存周囲温度	-20~+60°C	-20~+60°C
使用周囲湿度	10~90%RH (結露のないこと、湿球温度29°C以下)	10~90%RH (結露のないこと)
保存周囲湿度	10~90%RH (結露のないこと、湿球温度39°C以下)	10~90%RH (結露のないこと)
耐ノイズ	ノイズ電圧 : 1, 500Vp-p パルス幅 : 50ns、500ns、1 μ s (ノイズシミュレータによる)	ノイズ電圧 : 1, 500Vp-p パルス幅 : 50ns、500ns、1 μ s (ノイズシミュレータによる)
耐静電気放電	6kV	6kV
耐振動	動作時 10~57Hz:片振幅0.075mm 57~150Hz:9.8m/s ² X, Y, Z 各方向10 サイクル (80 分間)	JIS B 3502、IEC/EN61131-2 に準拠 5 ~ 9Hz 片振幅 3.5mm 9 ~ 150Hz 定加速度 9.8m/s ² X, Y, Z 各方向10 サイクル (100 分間)
耐衝撃	輸送時3,920m/s ² (1ms、正弦半波)	-

- ・ HDDユニットを高温・高湿度の環境 で使用すると、寿命を縮める原因となります。湿球温度29°C以下での使用を推奨します。
この条件は、例えば気温35°Cで湿度64%RH、40°Cで44%RH程度に相当します。

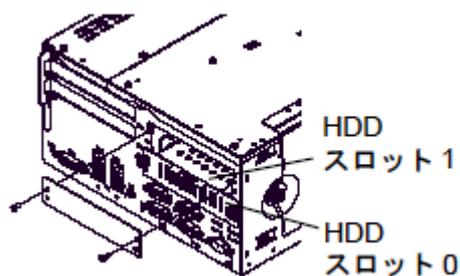
3. 取り付け

3.1 取り付け方法

- ・ HDD/SSD ユニットの衝撃に弱い精密機器ですので、取り付け・取り外しの際は衝撃を与えないよう十分ご注意ください。
- ・ PL に接続したモニタの画面表示が消えていても内部は通電状態（スタンバイ状態など）になっている可能性がありますので、必ずPL の電源スイッチがOFF になっていることを確認してください。
- ・ 故障の原因となりますので、PL への取り付けの際は必ずPLの電源を切ってから作業を行ってください。

■ HDD/SSD ユニットの取り付け

- (1) HDD スロットのネジ2 個を外し、カバーを取り外します。



- (2) HDD/SSD ユニットの取っ手を持って、衝撃を与えないようにゆっくりとガイドレールに沿うように挿入します。コネクタが完全に接続されるまで差込みます。



- (3) HDD/SSD ユニットのネジ2 個を締めて固定します。締め付けトルクは0.2 ～ 0.3N・m です。

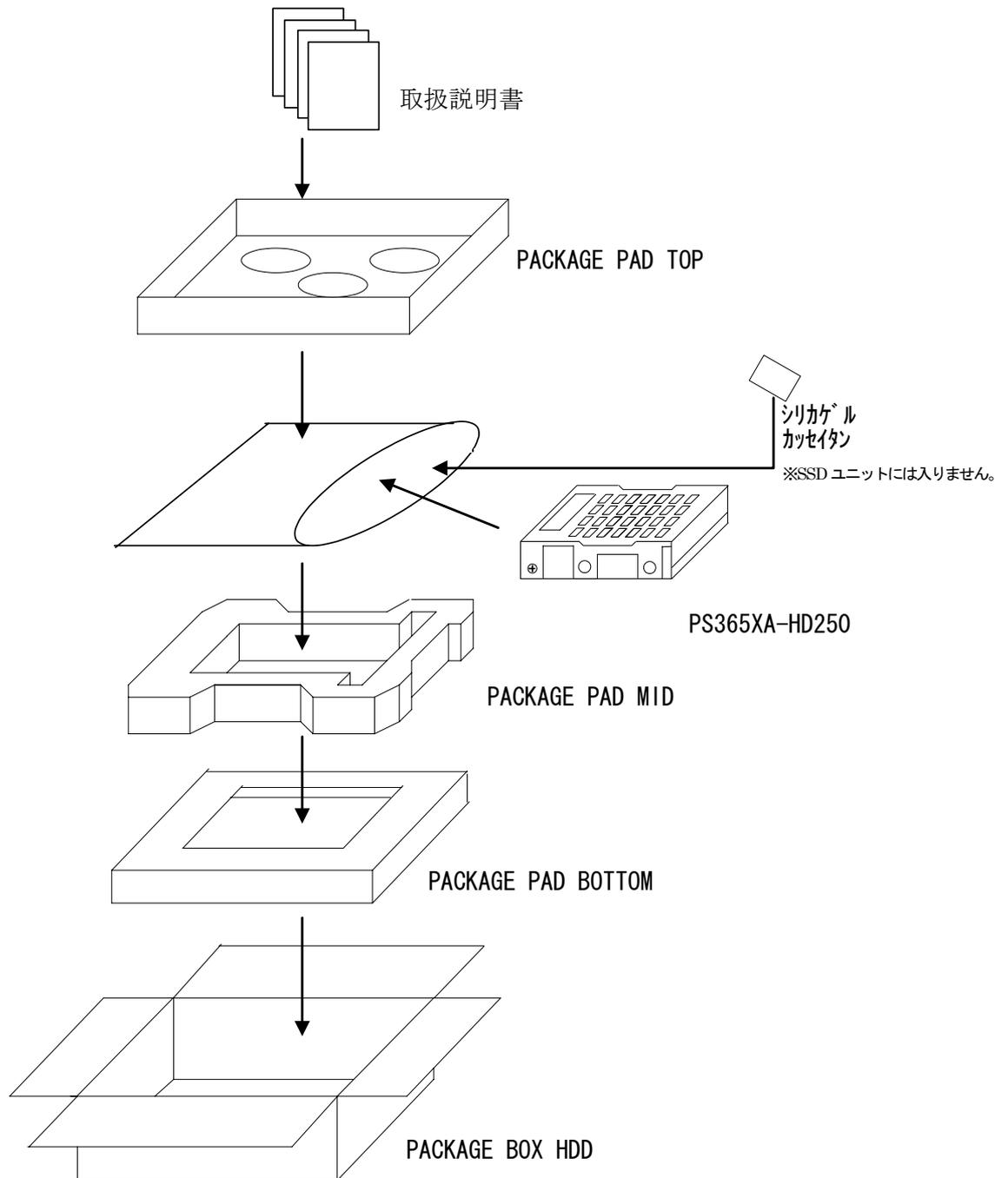
4. 納入形態

4.1 梱包内容

- | | | |
|-------------------|----|------------------|
| (1) HDD/SSDユニット本体 | 1台 | |
| (2) 取扱説明書 | 1冊 | |
| (3) ハードディスク使用上の注意 | 1冊 | ※SSDユニットには入りません。 |

4.2 梱包

4.1 項の内容物1式をダンボール製の弊社専用梱包箱に入れ梱包する。



5. 安全に関する使用上の注意

- ・ PS-Aへの取り付け時は感電の危険性がありますので、PS-Aに電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ HDDユニットは改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ HDDユニットを取り付ける際には、「HDDユニットの取り付け」をよく読んで、正しく取り付けてください。

故障しないために

- ・ HDDユニットは精密機器ですので、衝撃を与えないでください。特に開梱後は倒したり、ぶつけたりしないでください。また、操作盤等に、HDDユニットを搭載したPS-Aを取り付けた状態での輸送は絶対におやめください。
- ・ HDDユニットに水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 修理や改造を行わないでください。
- ・ HDDユニットを組み込んだシステムの通電中の持ち運びは絶対におやめください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では使用しないでください。ハードディスク本体が破損します。
- ・ データ破壊を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。
- ・ メモリリークを防ぐために、定期的にOSを再起動してください。
- ・ ハードディスクには寿命があります。より長く、安定した動作でご使用いただくために、付属の「ハードディスク使用上の注意」をよく読んでご使用ください。
- ・ ハードディスクの寿命を延ばすため、Windows®の[コントロールパネル]-[電源オプション]-[電源設定]で非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定してください。5分後を推奨します。

廃棄時の注意事項

- ・ 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。